

施策マネジメントシート(平成29年度の振り返り、総括)

作成日 平成 30 年 6 月 19 日

基本目標	II	豊かな自然と共生するまち	主管課	名称	地域整備課
				課長	古川 文雄
施策	15	道路網の整備	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名		対象	意図
	①町民	①安全で円滑に移動ができる。		1	道路の整備促進	町民	短時間で移動ができる。
				2	道路の安全性と利便性の確保	町民	道路を安心して快適に利用できる。
				3			
				4			
				5			

成果指標	成果指標名		単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	町内の道路に不便を感じている町民の割合	%	実績値	52.9	50.7	53.0	51.9	49.9	50.3	53.7
				目標値		50.0	49.0	48.0	46.0	44.0	43.0
	B	道路改良率 都市計画道路改良率	%	実績値	36.8/17.6	36.8/26.9	36.8/27.4	36.8/27.4	37.3/32.0	37.4/32.0	37.6/34.8
				目標値		37.0/17.6	37.0/17.6	37.0/17.6	37.0/17.6	37.0/20.0	37.0/20.0
	C	橋梁長寿命化修繕計画の進捗率	%	実績値	-	0.0	2.3	14.0	27.9	30.2	37.2
				目標値		0.0	9.3	25.6	48.8	69.8	100.0
	D	道路愛護活動(資材支給)を行っている行政区の数	区	実績値	41	44	44	43	42	44	43
				目標値		44	46	48	50	52	54
	E	学校指定通学路の歩道等整備率(簡易整備を含む)	%	実績値	24.7	33.5	34.1	34.1	34.9	12.4	12.4
目標値					36.5	38.4	40.3	42.3	44.3	46.2	
F			実績値								
			目標値								
指標設定の考え方と実績値の把握方法			A) 安全で円滑に移動できていれば、道路に不便を感じる町民の割合が低くなると考えられるため、成果指標とした。 町民アンケートにより把握 ※町内の道路に不便を感じていますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合 B) 数値が上昇すれば、町民が安全で円滑に移動できるようになると考えられるため成果指標とした。道路実態調査による。 C) 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画と実施を比べることで進捗状況を把握することができるので成果指標とした。 D) 数値が上昇すれば、実施している団体が増え、資材支給の支援ができたと考えられるため成果指標とした。 E) 指定通学路の総延長に対して、整備できた指定通学の距離の割合が多くなれば安心安全に通学が出来るため成果指標とした。								
目標値設定の考え方			A) 不便の内容として道幅が狭いと回答した人の割合が57.8%と高くなっている。しかし、事業の実施が進んでいるため成り行きでは平成29年度まで徐々に割合が下がると想定し、平成23年度実績から10ポイント程度の改善をめざす。 B) 道路改良率を大幅に向上させるためには、膨大な時間と費用を要するため短期間では困難。今後は、道路の新設よりも既存道路の管理に重点がシフトしていく傾向にあるため、成り行き値を目標値とする。【(道路改良率) 県内市町村平均: 48.3% (H28)、沼田市: 36.9% (H28)、中之条町: 36.2% (H28)、片品村: 40.2% (H28)、川場村: 60.7% (H28)、昭和村: 41.8% (H28)】 C) 計画的かつ予防的な対応に転換を図ることにより橋梁の寿命を延ばし、安全性の確保と維持管理費用の抑制を図ることを目的として町が管理する道路橋429橋のうち橋長15m以上の96橋を対象とした橋梁長寿命化修繕計画を策定した。修繕計画に基づいて、国の補助事業を採択し、計画どおりに補修工事を実施することを目標値とした。 D) 平成24年度では3分の2の行政区が現在資材支給を受けて道路愛護を行っている。更に町民に理解を求め道路愛護を推進していく対策をとり、平成25年度から毎年2地区の実施を目指し、平成29年度までに54区を目標値とした。地区別の活動実績は平成24年度、月夜野地区22/23、水上地区3/17、新治地区19/20となっている。 E) 以前、通学路の総延長は25.5kmであったが、教育委員会による区域の見直し(平成29年3月)により総延長が72.0kmへと変更されたことにより、平成24年度末には8.08km、33.5%、平成25年度34.1%、平成26年度34.1%、平成27年度34.9%の整備率となっていたが、平成29年度は12.4%という低い整備率となった。簡易整備とは、幅員が0.75m以上2.00m未満の歩道又は自転車歩道車道が設置された区間、もしくは道路端へのカラー舗装等により歩行空間が明示されている区間。								

施策のための目的・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①道路整備に対して用地の提供や地域の合意形成に努める。 ②地域における道路愛護に努め、簡易な修繕及び維持管理を行う。 ③道路の危険箇所などを通報する。	①計画的に道路の整備を行う。 ②道路の適切な維持管理を行う。 ③橋梁等の長寿命化を進める。 ④道路愛護活動のための資材支給などの支援を行う。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか？	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？
	①今後、人口減少が進むことで、これまで道路等の維持管理に従事していた人も少なくなり、維持管理が困難になることが予想される。 ②平成26年7月より2m以上の橋梁は年1回の点検が義務づけられたため、点検体制の強化が必要となる。	①町民の約5割が町内の道路に不便を感じているため、住民の期待に十分応えているとは言えない。特に、「道幅が狭い」56.4%、「暗い」48.1%、「歩道がない」40.2%が高い割合となっている。 ②町民アンケートによると、自由記述欄には、上記アンケート結果と同様に、国道・県道・町道に歩道の整備、および道幅が狭いので広くして安全に通行できるようにしてもらいたいという意見が多い。

施策	15	道路網の整備	主管課	名称 課長	地域整備課 古川 文雄
----	----	--------	-----	----------	----------------

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	☐ かなり向上した。	①町内の道路で不便を感じている割合は平成25年度53.0%、平成26年度51.9%、平成27年度49.9%、平成28年度50.3%、平成29年度53.7%と前年度より3.4%上がり、不便を感じている町民の割合は若干高くなった。地区別にみると、月夜野地区53.8%、水上地区56.6%、新治地区50.7%となっている。不便と回答している内容を地区別にみると、月夜野地区で「道幅が狭い」、「暗い」、「歩道がない」、「草刈り・清掃などの維持管理が不十分」の割合が高い。各地区において「道幅が狭い」、「暗い」の割合が高くなっている。 ②道路改良率は、平成25年度36.8%、平成26年度36.8%、平成27年度37.3%、平成28年度37.4%、平成29年度37.6%と若干向上した。町道の総延長が長い為、道路改良は進めているものの改良率に変化が現れない。 ③都市計画道路の改良率は、平成25年度27.4%、平成26年度27.4%、平成27年度32.0%、平成28年度32.0%、平成29年度34.8%と若干向上した。 ④道路愛護活動(資材支給)を行っている行政区の数は、平成25年度44区、平成26年度43区、平成27年度42区、平成28年度44地区、平成29年度43地区と、前年度より1地区減少した。 ⑤通学路の歩道等整備率は、平成25年度34.1%、平成26年度34.1%、平成27年度34.9%と若干向上していたが、区域の見直しによる延長増により、平成28年度では12.4%、平成29年度では12.4%という数値になった。
		☐ どちらかといえば向上した。	
		☐ ほとんど変わらない。(横ばい状態)	
		☒ どちらかといえば低下した。	
☐ かなり低下した。			
② 他団体との比較	☐ かなり高い水準である。	①町の道路改良率は37.6%であり、平成29年度県内市町村における道路改良率の平均48.6%を11.0ポイント下回っている。なお、道路改良率は道路延長が短く人口が集中する都市部で高い傾向にある。また、近隣市町村との改良率と総延長の比較では、みなかみ町の改良率が37.6% (実延長1,128.6km) であるのに対し、沼田市36.9% (1,399.7km)、中之条町36.9% (701.1km)、片品村40.1% (363.8km)、川場村60.9% (161.4km)、昭和村42.1% (537.0km) となっている。(平成29年4月現在) ②みなかみ町内の学校指定通学路の歩道等整備率は、12.4% (総延長72.0km) である。(平成29年度)【沼田市23.8% (38.8km)、中之条町11.4% (20.2km)、片品村0% (0km)、川場村9.2% (22.9km)、昭和村17.0% (27.7km) となっている。(平成29年度)】	
	☐ どちらかといえば高い水準である。		
	☒ ほぼ同水準である。		
	☐ どちらかといえば低い水準である。		
	☐ かなり低い水準である。		
③ 目標の達成状況	☐ 目標値を大きく上回った。	①町民アンケートによる「町内の道路で不便を感じている町民の割合」は平成28年度から3.4ポイント増え53.7%となり、目標の43.0%を大きく下回った。 ②道路改良率は、町道道路改良を進めた結果37.6%となり、目標値の37.0%を若干上回った。町道の総延長が長い為、率に表れにくい。 ③都市計画道路改良率は、34.8%と前年度と若干上回り、目標の20.0%は上回った。 ④橋梁長寿命化修繕計画の進捗率は37.2% (16/43橋) であり、目標の100.0%を下回った。交付金の枠内で事業実施しているが、一橋あたりの補修に膨大な費用が掛かるため、計画橋数を予定どおりに進めるのは困難である。 ⑤道路愛護活動(原材料支給)を行っている行政区の数は、平成27年度は42地区、平成28年度は44地区と、平成29年度は43地区と、目標値の54地区を11地区下回った。 ⑥学校指定通学路の歩道等の整備については、12.4%であり、目標値の46.2%に達することができなかった。通学路の見直しによる延長増が大きな原因のほか、簡易歩道の整備が進まなかったことが挙げられる。	
	☐ 目標値を多少上回った。		
	☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。		
	☒ 目標値を多少下回った。		
	☐ 目標値を大きく下回った。		
成果実績に対する総括	①真政悪戸線整備事業の徒歩橋工事完成し、1工区工事が平成30年度に完成見込みとなった。 ②真政線整備事業の用地買収の地権者の了解が得られ、平成30年度に工事着工見込みとなった。 ③狭あい道路整備事業の野田原線の用地買収が約5割、物件移転補償が4割完了した。 ④橋梁の長寿命化事業に於いて、3橋(あいのわたし橋・白岩橋・滝谷橋)の工事が完了した。 ⑤原材料購入事業は、町で購入した資材を地域に提供し地域が労務を負担することで、町道の修繕整備を進めるとともに、町民の道路愛護意識を醸成した。 ⑥国道291号線の小川集会場付近、小川工区の改良工事が完成した。 ⑦新三国トンネルの事業が事業全体延長1.2kmのうち約2割程度掘削工事が進捗した。 ⑧主要地方道渋川下新田線の下津工区の改良事業が事業全体延長860mのうち約2割程度整備工事が進捗した。		

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名		今後の課題	今後の取り組み(案)
	1	道路の整備促進	都市計画道路等の早急な整備が必要である。	①悪戸矢瀬線の未着手部分への工事着工する。 ②真政悪戸線徒歩橋が供用開始し、平成30年度に1工区(老人センターまで)工事が完了することから、その先(国道17号バイパス間)についての調査、設計をする。 ③後閑師線の改良工事を継続する。
	2	道路の安全性と利便性の確保	①道路の狭隘部分の解消 ②橋梁等の道路構造物の安全性の確保	①用地買収を進めている野田原線改良工事に着手する。 ②鹿野沢西町線の改良工事に着手する。 ③橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高速道路を跨ぐ橋梁等の補修を進める。 ④道路ストック事業に基づき、トンネル・法面等の長寿命化事業を進める。
	3			

15.道路網の整備

平成 29 年 8 月 18 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業			000007		国・県等土木施設整備促進事業					① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		157,650 円							
施策体系		施策		15		道路網の整備					・国、県が実施する事業の要望活動の実施。 ・県土木事務所へ要望している事業の実現に向けて、県、町、町議との意見交換を目的とした土木行政懇談会の開催。 ・高速道路に架かる橋梁整備の事務局としての構成市町村等の調整事務等				要望を再検討し、要望箇所を絞り、重点的に要望活動を実施した。				事業実績								
		基本事業		01		道路の整備促進													懇談会開催回数								
										②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策													
根拠		無		組織		地域整備		課		課長		古川 文雄		要望箇所を絞ると、削除された区等関係者からの異議が寄せられる可能性があるため、事前の説明が必要である。				引き続き、要望を再検討し、重点的に要望することにより、事業の早期完成を目指す。				平成28年度		平成29年度		単位	
				土木		G																					
事業期間		継続事業			会計		1		款		8		項		1		目		1		0		1		回		
H		～			年間																						

平成 29 年 7 月 31 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業		000011		土木工事設計積算事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		712,650 円				
施策体系	施策		15		道路網の整備				(財)群馬県建設技術センターからの通知を受け、積算システム更新の案内や使用機器の調査を行う。製図システム保守の取り扱いを行う。積算歩掛等の購入。				書籍版建設物価については、Web版へ切り替えた結果、保管場所の問題が解決された。				事業実績					
	基本事業		01		道路の整備促進												積算システムを利用して発注した件数					
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策									
根拠	無	組織	地域整備		課	課長		古川 文雄		書籍版建設物価については、会計検査対応のため長年保管する事となり、保管場所が相当必要。				積算業務の簡素を行うため、今後も積算システムを活用していく。				平成28年度		平成29年度		単位
事業期間		継続事業		会計	1	款	8	項	1									目	1	100		100

平成 29 年 8 月 16 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業			000013		町道真政悪戸線整備事業					① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	280,386,482 円	
施策体系	施策		15		道路網の整備					真政悪戸線整備 道路 L=700.0m W=16.0m 橋梁 L=100.0m W=16.0m				第2期計画の移行するにあたり概略設計を実施している。				事業実績		
	基本事業		01		道路の整備促進													整備済延長		
					②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策											
根拠	有	組織	地域整備		課	課長		古川 文雄			都市計画道路の事業認可及び交付金事業化し予算の確保が必要となる。 また、第2期計画実施設計発注前には、都市計画変更が必要となる。				平成28年度	平成29年度	単位			
事業期間		継続事業		会計	1	款	8	項	4	目					2	0	220	m		

平成 29 年 8 月 18 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業		000014		町道真政線整備事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	34,801,583 円				
施策体系	施策		15		道路網の整備				県道沼田水上線、政所信号～東側大沢田出水線を結ぶ新設道路				関係権利者との交渉を重ね、全件契約締結完了。一部の移転補償の検査、土地登記は繰越。				事業実績				
	基本事業		01		道路の整備促進												整備延長				
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策								
根拠	有	組織	地域整備課 土木課長 古川 文雄				用地買収、建物補償等の交渉に時間を要する。				踏切移設以外の工事を30年度に完了させる。32年度の完成を目指し踏切工事実施に向けJRと協議を行う。				平成28年度	平成29年度	単位				
事業期間	継続事業		会計	1	款	8									項	2	目	3	0	0	m
H	～	年間																			

15_道路網の整備

平成 29 年 8 月 18 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業		000020		土木総経費負担事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		583,000 円	
施策体系	施策		15		道路網の整備				賛同、参画する各種団体に負担金を支払い、団体の活動を通じて道路網等の整備促進を図る。 H29年度より事務事業を1本化した。				事業の早期完成のために総会、陳情活動を実施した。				事業実績		
	基本事業		01		道路の整備促進												総会開催数(みなかみ町が主体で行う)		
	②事務事業の課題								④今後の方針・課題解決策										
根拠	無	組織	地域整備		課	古川 文雄			どのような総会・要望活動が早期完成のために有効か検討し実施する。				引き続き、総会・要望活動を実施し、事業の早期完成を目指す。				平成28年度	平成29年度	単位
事業期間		継続事業		会計	1	款	8	項									1	目	1

平成 29 年 8 月 14 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業		000001		道路愛護活動事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		14,197,082 円			
施策体系	施策		15		道路網の整備				道路の環境美化を通じて公共福祉の増進と道路愛護意識の高揚を図るため 春と秋年2回、地区の住民による道路の清掃並びに修繕に対し支援を行う。				地区の高齢化、道路の老朽化が進んでいるため、本事業の利便性の強化が必要なことから、事業拡充について検討した。				事業実績				
	基本事業		02		道路の安全性と利便性の確保												道路清掃延長				
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策								
根拠	無	組織	地域整備 土木		課長	古川 文雄			・傷害保険の補償内容の見直し。 ・任意保険加入の推進を図る。 ・作業に伴う安全管理の周知を強化する。				機械の貸し出しや、支給できる資材についての拡充を検討し、地区のマンパワーを最大限に活用できる様、事業を改善していきたい。				平成28年度		平成29年度		単位
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	2									目	1	413		453

平成 29 年 8 月 18 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業		000002		道路台帳管理事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	9,774,000 円				
施策体系	施策		15		道路網の整備						新設、改良等による町道の認定内容情報について、前年までの同データに加除して路線台帳を整備更新するもの。				各部署に照会をかけて、道路台帳図の補正をきめ細やかに実施した。				事業実績				
	基本事業		02		道路の安全性と利便性の確保														新設、改良路線数・廃止路線数				
											②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策								
根拠	無	組織	地域整備		課	古川 文雄					台帳統合化並びにGIS情報化による庁内他情報との複合情報一元化に必要な多額の財源の確保。				統合事業が予算化できたため、GIS整備期間中は本事業についてしばらく凍結。				平成28年度		平成29年度		単位
				土木		課長				71									58		路線		
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	2	目	1									71		58		路線
	H ~ 年間																						

平成 29 年 8 月 14 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業		000003		道路内民地未処理案件解決事業					① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費	316,711 円			
施策体系	施策		15		道路網の整備					町道の敷地内にある個人名義の土地の処理を行う。公共用地として取得し、管理を適正に行えるようにする必要がある。					分筆を伴う寄付の申し出件数が例年よりも多く、予算の増額要望をしたが、予算がつかなかった。					事業実績			
	基本事業		02		道路の安全性と利便性の確保															道路内民地を町名義に登録した件数			
	②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策																	
根拠	無	組織	地域整備		課	課長		古川 文雄			道路内民地を把握するため台帳づくり。また事業を担当する部署への登記事務実施への徹底を周知していく。					例年通り実施。					平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	2	目	1											7	2	件

15_道路網の整備

平成 29 年 8 月 18 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業		000004		道路維持管理事業					① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		19,394,154 円									
施策体系	施策		15		道路網の整備					パトロールにより危険箇所の情報収集に努め、道路の欠陥・破損箇所を早期に発見補修し、町民生活に影響を与えぬよう道路を常に良好な状態に保つよう維持・補修を行う。					例年通り実施。					事業実績										
	基本事業		02		道路の安全性と利便性の確保															修繕作業委託箇所数										
						②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策																			
根拠		無		組織		地域整備		課		課長		古川 文雄		道路パトロールを強化して、町内の状況を把握し、早期に対応する。・業者等の施行方法や区長、近隣の住民と連携して補修にあたる。					臨時職員をあてにしていた作業が今後難しくなっていくため、これらの作業を委託していく方向を取るべく、委託費を拡充したい。					平成28年度		平成29年度		単位		
						土木		G																38		41		箇所		
事業期間		H		継続事業		～		年間		会計		1		款		8		項		2		目		2						

平成 29 年 8 月 18 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業		000005		三峰トンネル維持管理費負担事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		8,870,140 円					
施策体系	施策		15		道路網の整備						望郷ライン三峰トンネルの維持管理について、事務を沼田市に委託し、延長割りで負担金を支払うもの。				例年通り実施。				事業実績						
	基本事業		02		道路の安全性と利便性の確保														トンネルの長さ						
											②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策										
根拠	無	組織	地域整備		課	課長		古川 文雄				2市町にまたがるトンネルのため、補修工事を実施するにあたり、沼田市と調整をし、施工時期を合わせる必要がある。				沼田市と調整を図り、補修対策工事を実施				平成28年度		平成29年度		単位	
事業期間		継続事業		会計	1	款	8	項	2	目	2									1,605		1,605		m	

平成 29 年 7 月 31 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業		000006		道路ストック総点検・老朽化対策事業					① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		123,781,084 円				
施策体系	施策		15		道路網の整備					全国各地で起きているトンネル内コンクリートの剥落や道路のり面上方からの事故が起こらないように適切に維持管理する事を目的とする。					トンネル補修工事の実施 法面補修工事の実施					事業実績					
	基本事業		02		道路の安全性と利便性の確保					各種道路構造物を点検し、危険箇所について補修工事などの対策をとる。										点検箇所数・補修設計数・補修工事数					
	②事務事業の課題										④今後の方針・課題解決策														
根拠	有	組織	地域整備		課	課長		古川 文雄			交付税の減少、町道廃止による林道利用者からの苦情。					定期的にパトロールや施設点検を実施し、危険箇所の把握・修繕を実施する。					平成28年度		平成29年度		単位
事業期間		継続事業		会計	1	款	8	項	2	目											2	0・2・8		31・1・18	

平成 29 年 8 月 18 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業		000007		単独道路補修事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	39,824,676 円				
施策体系	施策		15		道路網の整備				地区要望や日常パトロール等により発見された道路の異常箇所を補修する。				管内一円道路維持工事を発注し異常箇所の修繕を迅速に行った。				事業実績				
	基本事業		02		道路の安全性と利便性の確保												実施件数(水上・月夜野・新治)				
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策								
根拠	有	組織	地域整備		課	課長		古川 文雄		事業費の確保が必要となる。				道路の適正管理に努める。				平成28年度	平成29年度	単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	2	目									2	6・5・24	6・11・30	件
H	～	年間																			

15_道路網の整備

平成 29 年 8 月 18 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業			000009		単独道路改良事業					① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	9,062,070 円		
施策体系	施策		15		道路網の整備					補助事業に該当しない小規模道路改良工事に伴う不動産鑑定評価業務、土地等売買契約、分筆・所有移転登記等工事等に向けての準備作業及び工事業務				小規模道路改良工事に伴う測量設計、土地売買、分筆・所有移転登記を行った。				事業実績			
	基本事業		02		道路の安全性と利便性の確保													当年度実施済道路延長			
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策								
根拠	無	組織	地域整備		課	課長		古川 文雄			事業費の確保が必要となる。				地元要望を精査し、小規模な道路改良で安全性・利便性に努める。				平成28年度	平成29年度	単位
		土木		G																	
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	2	目	3					0	0	m				
	H ~ 年間																				

平成 29 年 7 月 31 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業		000014		橋梁長寿命化事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		92,408,394 円				
施策体系	施策		15		道路網の整備				既設管理橋梁の定期点検を発注し、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の長寿命化を図る。 既設管理橋梁の職員による簡易点検を行う。また、計画に基づき補修及び修繕を行う。				町管理道路橋梁の法令点検・補修設計・補修工事を実施した。				事業実績					
	基本事業		02		道路の安全性と利便性の確保												橋梁点検数・橋梁補修設計数・橋梁補修工事数					
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策									
根拠	有	組織	地域整備		課	課長		古川 文雄		橋梁長寿命化計画が策定され、修繕計画が策定されると、多額の費用を毎年つき込み修繕することになるので予算の確保が必要である。しかし、修繕を怠ると橋梁通行不能となるため、新規道路や道路改良よりも優先的に予算を投入するべきである。				道路橋梁の適正な維持管理に努める。				平成28年度		平成29年度		単位
		土木		G					21・0・1									275・3・3		橋		
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	2	目	4												
	H	～	年間																			

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 29 年 8 月 21 日更新)

事務事業		000015		狭あい道路拡幅整備事業					① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		257,175,211 円						
施策体系	施策		15		道路網の整備					H32年度以降も事業を実施するため、県に交付金事業継続の要望を行った				事業実績											
	基本事業		02		道路の安全性と利便性の確保									狭あい道路事業延長											
										②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策											
	根拠		無		組織		地域整備		課		課長		古川 文雄		H31年度で交付金事業が終了する見込みであり、今後の路線要望への対応が課題となる				引き続き県に対して事業継続の要望を行っていく						
						住宅政策		G																	
事業期間		継続事業		会計		1		款		8		項		5		目		1		平成28年度		平成29年度		単位	
		H 23 ～ 32 年間																		665.3		665.3		m	

平成 29 年 8 月 18 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業		000020		町道後閑真庭線道路改良事業					① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	1,509,200 円		
施策体系	施策		15		道路網の整備					後閑真庭線終点側交差点部(T字路)について、構造上危険であることから、改良に向けた調査を実施。				交差点改良設計を実施し線形計画を作成した。 権利関係者の了解が得られず事業凍結。				事業実績		
	基本事業		02		道路の安全性と利便性の確保					②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				当年度実施済延長		
	根拠		無		組織		地域整備課 土木課長 古川 文雄			現地は、狭小、急勾配部分があるが、どの程度解消できるかが問題。				権利者の承諾が得られれば事業再開。 真政悪戸線の早期開通により交通量の緩和。				平成28年度	平成29年度	単位
事業期間		継続事業		会計		1	款	8	項	2	目	3					0	0	m	

15.道路網の整備

平成 29 年 8 月 18 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業		000021		町道今宿池の原線道路改良事業					① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	3,334,400 円			
施策体系	施策		15		道路網の整備					町道今宿池の原線起点部が狭小であるため、国道17号線の改良計画に合わせ、改良する計画を立て、工事実施へと結びつける。				調査設計業務を発注、用地交渉を行っていたが、地権者の意向が反転したため、実施不能となった。				事業実績			
	基本事業		02		道路の安全性と利便性の確保													当年度実施済延長			
											②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策						
根拠		無		組織		地域整備		課		課長		古川 文雄		建物の一部が支障となることから、工事費のほかに補償費が必要となる。				今後地権者の意向が元に戻ることを期待しつつ、予備設計を変更、実施した。この資料を後年に残す。			
						土木		G													
事業期間		継続事業		会計		1		款		8		項		2		目		3			
H		～		年間														0			
																		0			
																		m			

平成 29 年 8 月 18 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業		000022		町道後関師線道路改良事業					① 事務事業の内容			③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	25,273,389 円		
施策体系	施策		15		道路網の整備					町道後関師線狭小区間の拡幅改良事業			H28より繰越した用地買収が完了した。 H29より工事に着手したが、東電等の電柱移転のため、繰越となった。			事業実績		
	基本事業		02		道路の安全性と利便性の確保											当年度実施済延長		
											②事務事業の課題			④今後の方針・課題解決策				
根拠	有	組織	地域整備		課			課長	古川 文雄		事業開始から完了まで5カ年要する。 前後の未改良区間の検討			東電、NTT等の支障電柱について工事が遅延しないよう早期に調整が必要。				
			土木		G													
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	2	目	3				平成28年度	平成29年度	単位		
H	～		年間											0	0	m		

平成 29 年 8 月 18 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業		000023		町道東峰89号線拡幅改良事業						① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	2,400,000 円			
施策体系	施策		15		道路網の整備						町道東峰89号線狭小部の拡幅改良 現地調査・測量設計・用地買収・改良工事 L=300m		今年度、試験的に50m区間について半たわみ性舗装にて施工し、機能(耐久性)の確認をした。		事業実績			
	基本事業		02		道路の安全性と利便性の確保										施工済延長			
							②事務事業の課題						④今後の方針・課題解決策					
根拠	無	組織	地域整備		課	課長		古川 文雄				住宅が建ち並ぶ狭小な道路の拡幅改良となるため、支障物件が多くなる可能性がある。		全延長約600mについて、3年計画にて改良を進めたい。		平成28年度	平成29年度	単位
事業期間		継続事業		会	計	1	款	8	項	2	目					3	0	0
		H 29 ~ 年間																

平成 29 年 8 月 18 日作成 (平成 29 年 8 月 18 日更新)

事務事業		000024		町道羽場湯宿線道路改良事業					① 事務事業の内容			③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	5,000,000 円		
施策体系	施策		15		道路網の整備					起点部からしばらくの間の幅員が狭く、地域の重要路線であり、交通量が多く危険なため、拡幅改良をするもの。			測量設計業務を発注したが、地権者との調整が取れず、繰越となった。			事業実績		
	基本事業		02		道路の安全性と利便性の確保											当年度実施済道路延長		
							②事務事業の課題			④今後の方針・課題解決策								
根拠	無	組織	地域整備		課	課長		古川 文雄		砂防河川、民家等があり、位置の検討が必要。			地元・地権者の同意が得られるような道路計画を作成したい。			平成28年度	平成29年度	単位
事業期間		継続事業		会計	1	款	8	項	2							目	3	0

15_道路網の整備

平成 29 年 8 月 18 日作成 （平成 29 年 8 月 18 日更新）

事務事業		000025		道路台帳等統合整備事業					① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		15,720,000 円										
施策体系	施策		15		道路網の整備					旧3町村で整備した道路台帳の成果品が劣化している為、全庁統合GISの導入により、3地区の道路台帳の統合を始めとした他部署が保有している図面の一元管理を目指す。					公簿型プロポーザルにより、業者に発注。昨年度航空写真撮影が全域完了し、MMS計測も完了したため、昨年度実施分におけるクリティカルパスをクリアした。					事業実績											
	基本事業		02		道路の安全性と利便性の確保															実施率											
						②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策																				
根拠		道路法他		組織		地域整備		課		課長		古川 文雄		整備範囲、成果品の到達目標等が不明確である為、他部署との綿密な協議が必要					道路縁データをはじめとした供用空間データを整備し、今年度、統合型GISの仮運用を開始する。					平成28年度		平成29年度		単位			
						土木		G																							
事業期間		期間限定			会計		1		款		08		項		02		目		01							-		17		%	
H 28 ~ 3 年間																															